

---

# しあわせの蓋

なかもと

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

しあわせの蓋

### 【Nコード】

N6206C

### 【作者名】

なかもと

### 【あらすじ】

公園での初老と若いカップルとの一幕。初老の男は若者にある苦言を呈するが、その言葉は若者には届かない。そして……。哀愁と後悔の漂う、切ない掌編

夕暮れの公園は、物悲しく静かだった。

その公園にはとてもロマンチックな並木道が一本通っている。そこには晩秋の匂いと、

いくつもの枯葉が静かに舞っていた。並木道の両端に立つ洒落た常夜灯は、やわらかなあかりを灯し、その光はゆらゆらと揺れている。その道を若い男女が手をつなぎ歩いていた。まるで世界中のしあわせは自分たちの為だけに存在しているかのように。

そんなふたりの様子を見つめる眼があった。初老の男の眼だ。彼は並木道にあるベンチに座っていた。

ふたりが男の前を通り過ぎようとしたとき、柔らかな鏡が湾曲するかのようにその姿が時間とともに微かに歪んだ。

唐突に男はふたりに訊ねた。「しあせそうだね。君たち結婚するのかい？」

若い男は怪訝そうな表情を見せることなく「はい、来月結婚します」と笑顔で応えた。若い女もとびきりの笑顔で黙って頷いた。

ふたりは寄添いその場にそっと佇んだ。

「用心したほうがいい。恋愛は互いの誤解の上に成立している幻影に過ぎない。とても曖昧で壊れやすい影だ。恋愛と結婚はまっ

たくの別物なんだよ」

若い男は満面の笑みを浮べ彼女と見つめ合った。彼女との手はしっかりと握られている。

「そんなことないですよ。僕たちの気持ちは結婚しても決して変わることはありません」と若い男はきっぱりと言った。

「そうか……それならいいんだ」と男が言った。

男は若い男女と一瞬笑顔を交わした。そこに共感はない。ふたりは男に軽く会釈をしてその場を後にした。

男は手を繋ぎ去ってゆくふたりのうしろ姿を、じっと見つめていた。

ふたりの笑声が男の耳に届く。

男は思う。その甘い笑声は、いつの日か後悔の嗚咽へと変貌する  
ときが来だろう。いまが一番しあわせなとき。甘い静寂が破られる  
まで、存分に楽しめばいい、と。

程なく、男に別の思いが過ぎる。

神は繁殖の為に罪な感情をお作りになったものだ。それもはや病  
気だ。熱病だ。人間の罹る熱病の中でもっとも厄介で、もっとも悪  
性な熱病。しかし人間はその熱病を自ら貪欲に欲する。その熱病に  
かかること自体が優越なステータスシンボルであるかのように。

そしてその熱はある日突如として冷める。まるで最初からそこに  
熱などなかったかのように、冷酷に、そして確実に熱は消滅する。  
そのとき人はいくつかの新たな道を選択することになる。ひとつ  
は、また懲りもせずひょうひょうと次の恋愛を追い求める者。もう  
ひとつは、二度と苦しまぬよう恋愛を敢えて侮蔑しそれから逃れる  
ように生きようとする者。そして……。

男はそこで考えるのをやめた。

扱いようのない大きなわだかまりを振り払うかのように、男はゆ  
っくりとベンチから立ち上がり、若い男女とは別の方向へと歩いて  
いく。その後ろ姿は、深い海底に沈み、朽ち果ててしまった巨木の  
ように淋しかった。

ベンチに一枚の写真が残されていた。初老の男が落としていった  
ものだ。男はその写真をずっと肌身離さず持ち歩いていたのだろう。  
セピア色のよれた写真がそれを物語っていた。

そこには、男女のしあわせそうな笑顔が焼きついていた。

希望に満ち、瞳を輝かせ、未来を信じきっている若い女と、若き  
日の初老の笑顔が。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6206c/>

---

しあわせの蓋

2010年11月24日01時06分発行